

第2回「再生可能エネルギー熱「地中熱」に関する懇談会」

品川区立環境学習交流施設 エコルとごし

概要説明

令和6年12月17日

エコルとごし 館長 中藏 康之
(指定管理者 アクティオ株式会社)



本施設の目的 : 品川区環境基本計画(平成30年3月策定)において示された、環境教育・コミュニケーションの充実や、環境保全について日常的に実践する人を育て、次代につなぐ環境都市の実現を目指すため、環境を体感して学べる施設として整備する。

施設機能 : 体験学習機能・情報発信機能・交流連携機能

施設のキャッチコピー : つなぐ つづける つくりだす ~エコなミライへ~

施設ターゲット : 第一ターゲット 未来をつくる子どもたち
第二ターゲット 子どもを支える人たち

開館日 : 令和4年5月1日

■建築概要

所在地	: 品川区豊町2-1-30	規模	: 地上3階・地下0階
用途地域	: 第一種中高層地域	建物高さ	: 11.58m
防火地域	: 防火地域	敷地面積	: 1,343.79㎡
主要用途	: 環境学習施設	建築面積	: 937.17㎡
構造	: 鉄骨造	延床面積	: 1,865.83㎡

総工費 約22億円
建築費 約 19億円

環境省からのZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物
実証事業の補助金1.65億円

展示・環境学習 約3億円

《運営情報》

開館時間 7時～21時30分
コミュニティラウンジ 9時～18時
環境学習エリア/キッズスペース

休館日
第4月曜日
12月29日～1月3日

貸館機能
多目的スペース 定員100名
地域交流室 定員 27名
9時～21時30分 午前/午後/夜間

人員
職員 9名
スタッフ 4ポジション (登録16名)

展示エリア概要

■ 展示のテーマ 「温暖化対策」中心

2050年脱炭素社会の実現に向けて、私たちの「暮らし」の中でできることを学ぶ。

■ 展示の流れ

1 環境への興味につなげる大型映像による『映像展示』

小学生と未就学児の来館時間に合わせ、対象年齢別のコンテンツを設定



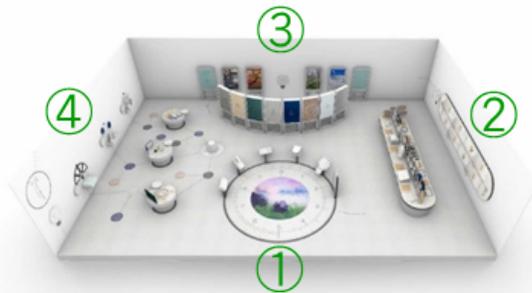
小学生以上向けメインコンテンツ
(環境への興味を高める)

来館時間により
切り替える



未就学児向けコンテンツ
(単純でわかりやすい)

2 時間軸で環境を捉える体験型展示による『常設展示』



3 来館者同士が思いを共有する参加型展示による『メッセージ展示』

展示を通じての気持ちを、メッセージや絵など簡単な方法で発信する参加型展示

1.映像展示 2つのプログラム

A: バランスプラネット

3つのステージで地球の環境を守る

B: いきものタッチ

未就学児でも豊かな自然が保たれば
楽しい景色がひろがることを体験する

2.常設展示 2つのプログラム

テーマ：地球温暖化

身近なところで何が起きているのか？
何ができるのかの気づきやヒントを与える

3.メッセージ展示 参加型展示

エコルとごしてどんなところ？

1. 月間来場者数 約2万名

初年度（11か月）	219,553名	19,959名/月
2年目	229,347名	19,112名/月
今年度（8か月）	170,487名	21,311名/月
累計	619,387名	19,980名/月

2. 環境学習講座実績

初年度（11か月）	50回	講座参加者	3,935名	
2年目	69回	講座参加者	5,861名	
今年度（9か月）	53回	講座参加者	5,018名	（計画70講座以上）

3. 品川区立小学校 社会科見学受け入れ

初年度（11か月）	26回	36学年	3,143名
2年目	23校	26学年	2,231名
今年度（9か月）	13校	16学年	1,321名

エコルとごしの機能と活用 エコルとごしてどんなところ？

4. 多くの視察見学対応（開館以来）

首長	10名	中央区長 高知県知事 明石市長 坂井市長 富田林市長 河内長野市長 大阪狭山市長 太子町長 河南町長 千早赤阪村長
地方議会	25議会・議員	高知県 沖縄南城市 足立区 南魚沼市 那覇市 海老名市 静岡県 福井県 朝来市 練馬区 豊田市 板橋区 浜松市 大田区 うるま市 仙台市 坂井市 さいたま市 横須賀市 大阪市 京都市 子どもの事故予防地方議員連盟 熊本県長洲町 西尾市 熊本市
自治体	のべ79自治体	東京都 足立区 板橋区 中央区 杉並区 墨田区 目黒区 大田区 文京区 荒川区 板橋区 北区 八王子市 清瀬市 武蔵野市 立川市 町田市 埼玉県 栃木県 愛知県 京都府 兵庫県 高知県 山口県 富良野市 宮古市 仙台市 塩竈市 横浜市 川崎市 海老名市 横須賀市 さいたま市 吉川市 成田市 東金市 柏市 龍ヶ崎市 豊田市 四日市市 岐阜白川町 明石市 京都市 呉市 福岡市 古賀市 北九州市 久留米市 熊本市
企業	のべ95企業	JR東日本 ソニーグループ JAL 建設会社 区内企業 など
海外	7視察 8か国	ジョージア国（環境副大臣） インドネシア地方政府 インドネシア・カンボジア留学生 ベトナム・ダノン大学 ソウル市立大学 中国視察団 x 2 台湾技術院

エコルとごしの機能と活用

5. 区内大学・企業・商店街などと連携

6. 大型フェスやキャンドルナイトなど風物詩となるイベント



7. 積極的な広報活動

広報紙

Withエコル 年6回発行 毎回22,000部

H P

SNS

Instagram / X / Line

品川区連携

広報しながわ 品川区Line

東急電鉄連携

目標の達成にむけて

環境学習機能

エコルとごしで時を過ごすだけで環境意識向上
いつでも環境学習

情報発信機能

ZEBの効果発信・啓発
地中熱の効果やメリットも積極的に発信しています

交流機能

幅広い年代の来館者の交流の場所 0歳から100歳まで
地域活性 町内会・商店街・区内大学・区内企業

目的の達成にむけて

戸越公園の四季折々の景色の変化の中で

自然に環境を学習できる施設となっています

どうぞこのあと施設をご見学ください

ありがとうございました